

実は…

# まだなんです! 私たちの年越蕎麦

～都会 de ソバ畑への思い～

年末用蕎麦自体は、ちゃんと年の瀬にお世話になった方々に、100食分の蕎麦を打ってお配り出来たのですが…、実は、ウチの"ソバ"は、まだ年を越せてません。

新年が始まり年をまたいだ今も、収穫すらできていないのが現状です。(1月10日現在)

というも……



## ～都会のど真ん中でソバ畑～

「都会のど真ん中でみんなのソバ畑!」を合言葉に、昨年9月「うめきたSOBAプロジェクト」が急遽始動することになりました。JR大阪駅に隣接する貨物操車場跡地の再開発暫定利用として、



「市民がプランターで育てた苗を、うめきたに集結しソバ畑を作ろう」という市民主導の緑化植栽事業への提案なのですが、行政などとの折衝期間もあり、スケジュールはどんどんと遅れて播種したのが10月第2週でした。

今回はそばの品種を、遅蒔きでも可と云われる「信州大そば」にしたものの、吹きさらしの広大な敷地の中に、こじんまりと集められたプランター蕎麦が、「時季外れの栽培で果たして花を咲かせて実を結ぶのだろうか?」、種蒔きに集まってくれた人達はそんな不安感のなかでもしっかり見守ってくれていました。

そんな思いが通じたのか、ちゃんと3週間後には健気な白い花を咲かせてくれました。初年度は都会のど真ん中での蕎麦栽培の実験として「ソバのお花見が出来たら、第一段階は成功」と思っていたのですが、こうなると欲が出てきます。

ちゃんと収穫して、その場所で「脱穀～石臼挽き～振る舞い蕎麦」までやりたいところ……

ところが……

## ソバが急に赤くなった!?

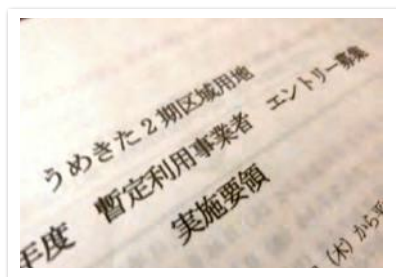
播種後のプランターは各家庭のベランダで育てていただいた後、再度うめきたへ運び込みました。

でも暫くしてクリスマスソングが聞こえ始めた頃、ソバの花がだんだんと赤くなってきました。

晩生なので恥ずかしがっているのか？ 周囲の紅葉につられて赤くなったのか？ クリスマスカラーに合わせたかったのか？…とも思いましたが、調べてみましたところ、この「信州大そば」という品種は、かのソバ博士・氏原暉男先生が改良した品種で、突然変異を起こして<sup>がくへん</sup>萼片が赤くなる事があるらしいのです。突然変異の特質を活かした「グレートルビー」という品種まであるそうで、恐らくそれと同じ様な事が起きているのではないかと思います。(現在問い合わせ中)



最初は白ぽかったソバの花。



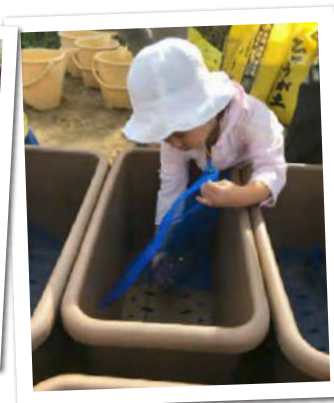
## 思い起こせば…

そんなこんなで、この赤いソバ君たちは今、年を越してようやく実を結びつつあります。

思い起こせば、昨年後半に急遽ふって湧いたかのように、急転直下決まったプロジェクトでした。

- ◎関係各所との折衝に手こずり、播種時期がズレ込む事にヤキモキした秋の空。
- ◎大急ぎの立ち上げだったので、予算も全て見切り発車でスタートし、持ち出しに次ぐ持ち出しで…  
じっと見つめた緩み過ぎの財布のヒモ。
- ◎プランターも種も準備は出来たものの、どれくらいの人に参加してくれるのか、不安で不安で仕方がなかったのですが、大勢の人達やお店の店主さんが親子連れで参加してくれ、感極まった種蒔き作業やそば打ち教室などなど…。





延べ300名以上、

ほんとにたくさんの方々のオチカラを  
お借りすることができました。



440個一つ一つのプランターにタネを蒔いてくれた人、  
ひとりひとりの優しい笑顔が浮かび上がってきます。



### 季節ハズレついでに(^\_-)-☆

肝心のソバのお花見は、クリスマスソングを聴きながら、  
ソバ畑をバックに「ハワイアンダンス教室」…と、  
なんと季節外れ揃いのイベントに笑い声が絶えず…  
とっても楽しいイベントになりました。



## これからが、本当の年越し…

恐らくこの文章を提出した後になると思いますが、たとえ手のひら一杯の収穫量だとしても、みんなでチカラを合わせて育てた「うめきたSOBA」を、ちゃんと収穫して、打ってみたいと思っています。

町の方々と一緒に収穫して、昔ながらの足踏み式脱穀機で脱穀し、唐箕をかけ、磨き、石臼で手挽きして、みんなで触れあいながら、作業し、慈しむ蕎麦…。

そうして出来上がった蕎麦が、本当の意味での「わが家の年越蕎麦」になると思います。

ほんとに、「蕎麦は人を繋ぐ」といいますが、蕎麦を媒介につながる縁。蕎麦をきっかけに知り合い、お互いに笑顔になれる人たち。それがきっとわが家の一員、家族なんだと思います。

叶えていきたい夢も、わが家の家族も、大きく大きくどんどんつながっていければ…。

そんな「わが家の年越蕎麦」の夢に、ひたすら向かっていこうと思うのです。

2017年 冬



大阪・梅田近辺にお住まいの留学生のみなさんとの触れあいそば打ち。  
こんなわが家もきっと楽しい…。